

## 新居町

### 地形概況

遠州灘に面して被覆砂丘や砂堆が分布している。東西にのびる浜名川にそう後背湿地は干拓や盛土で改変が進んだ。湖西丘陵は古見川の侵食谷が深く谷底低地を発達させた。浜名湖に面する湖岸や低湿地には養魚場も多く、造成地の面積が広い。

### 地質概況

浜名湖口の今切以西は広い砂質地と泥質の堤間湿地であるが、埋め立てが進行した。浜名湖岸は泥砂礫の互層であるが表層は改変された。湖西丘陵は未固結の高位段丘礫層であるため開析が著しく。堆積面は僅かである。表層部の赤褐色化が顕著である。

### 気象概況

年平均気温の推定 15.7℃は県内でも高く、特に冬は暖かく真冬日がほとんどない。平均気温の年較差は 18～20℃日較差も 7℃内外と小さい。年平均降水量は推定 1,900mm と県平均よりかなり少なく、4月から8月にかけて全降水量の約半分に達する。

### 災害事例 地震

- 1944年12月7日（昭和19年）東南海地震 M=7.9  
県中・西部に被害を生じた。当地付近では西方旧東海道に沿う海岸地帯に噴砂した所があった。震度は新居で5～6であった。
- 1854年12月23日（安政元年）安政東海地震 MN=8.4  
県下全般に被害を生じた。新居では北側の家は痛み少なく、南側の家13戸ばかり半潰し、また割れ目から泥を3尺も噴き上げた。関所付近では屋敷に潰・半潰・大破などの被害があった。
- 1707年10月28日（宝永4年）宝永地震 M=8.4  
全県下で被害があった。当地の震度は6である。
- 1686年10月3日（貞享3年）M=6.5～7.0  
新居の関所・番所・町家などが少々破損し、死者も生じた。
- 1498年9月20日（明応7年）明応地震 M=8.2～8.4  
新居での震度は6である。

### 災害事例 津波

- 1960年5月24日（昭和35年）チリ地震津波  
南米、チリ沖で起きた大地震により発生した津波で、日本の太平洋沿岸に被害があった。浜名湖の入口では津波の高さは約1.1mで、湖内はそれより低かった。
- 1944年12月7日（昭和19年）東南海地震津波  
三重県沿岸では津波の被害が大きかったが、当地では津波の高さ1m程度であった。
- 1854年12月23日（安政元年）安政東海地震津波  
全県沿岸に被害があった。新居では地震と津波で、800戸のうち40戸全潰、130戸半潰、家形船・渡船過半流失その他漁船残らず流失・破損、漁師14～15人行方不

明、5人死亡した。今切は200間のところ津波により700間になった。津波の高さは大元屋敷で約3m、関所跡で2.5m、新福寺で3m、東福寺で3.8m、高師山で4.0m、大倉戸で6mで、古記録によると津波は地震後15分位で襲ったという。

- 1707年10月28日（宝永4年）宝永地震津波  
全県沿岸で被害を受けた。新居では関所は全壊し、一般の家屋も当時805戸のうち241戸流失、107戸破壊、溺死24人であった。ほかに橋本村・大倉戸村などで、流失41戸、潰家22戸があった。御役船も110隻中80隻が流失破損した。津波の高さは3m程度である。
- 1605年2月3日（慶長9年）慶長地震津波  
橋本で民家100戸のうち80戸流失し、人馬の死傷少なからずという。浜名湖口の地形は今とかなり異なっていた。津波の高さ5～8m。
- 1498年9月20日（明応7年）明応地震津波  
日箇崎千戸、北山千戸、旧荒井同時に海になった。荒井は約100戸流失、浜名湖が津波で切れ海に通ずるようになった。今切れという。津波の高さは6～8mであった。

#### 災害事例 高潮

- 1959年9月26日（昭和34年）伊勢湾(15号)台風  
浜名湖の高潮により、浜名郡で全壊38戸、半壊129戸、床上浸水216戸、床下浸水697戸の被害を生じた。
- 1953年9月25日（昭和28年）台風13号  
浜名湖に高潮が起こり、全壊4戸、半壊35戸、床上浸水263戸、床下浸水216戸の被害を生じた。新居弁天では10戸を残して全滅、浸水は床上90cmに達した。
- 1680年9月28日（延宝8年）  
大風雨で遠州横須賀・浜松等を高波が襲い、荒井は御番所は無事であったが、そのほかは皆流潰れたという。

#### 災害事例 台風

- 1974年7月7日（昭和49年）台風8号(七夕豪雨)  
全県下に被害あり、当地でも全壊3戸、半壊5戸、床上浸水47戸、床下浸水678戸、冠水田畑63ha、道路決壊6箇所、山(崖)崩10箇所の被害があった。
- 1953年9月25日（昭和28年）  
全県下特に西部で風水害あり、当地でも全壊4戸、半壊35戸、床上浸水263戸、床下浸水216戸の被害があり、また新居弁天で床上浸水10戸を生じ、浸水は床上90cmに及んだ。

#### 災害事例 豪雨

- 1975年10月8日（昭和50年）  
西部沿岸で200～300mmの豪雨があり、床上浸水114戸、床下浸水806戸、その他、鉄道・道路・通信施設に被害を生じた。

### 災害事例 旱魃

- 1852 (嘉永 5 年)  
この夏旱魃。
- 1771 (明和 8 年)  
旧暦 4 月から 8 月にわたり大旱魃。
- 1770 (明和 7 年)  
夏大旱魃。
- 1626 (寛永 3 年)  
旧暦 4 月より 8 月にわたり諸国旱魃。飢饉餓死する者多し。

### 災害事例 冷害

- 1836 (天保 7 年)  
旧暦 3 月から 9 月まで雨続き夏冷気。
- 1784 (天明 4 年)  
春・夏寒冷凶作。